

2022.11.27

福岡37会

佐賀県唐津市

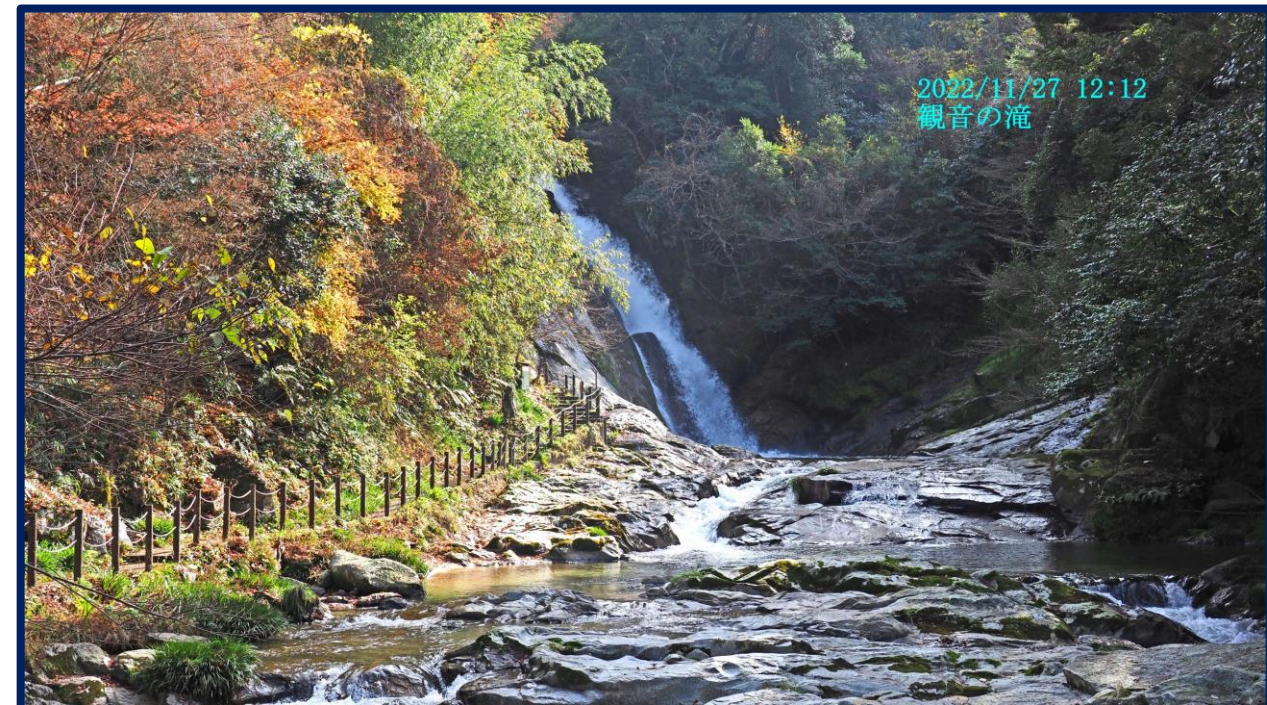
観音の滝、見帰りの滝の紅葉



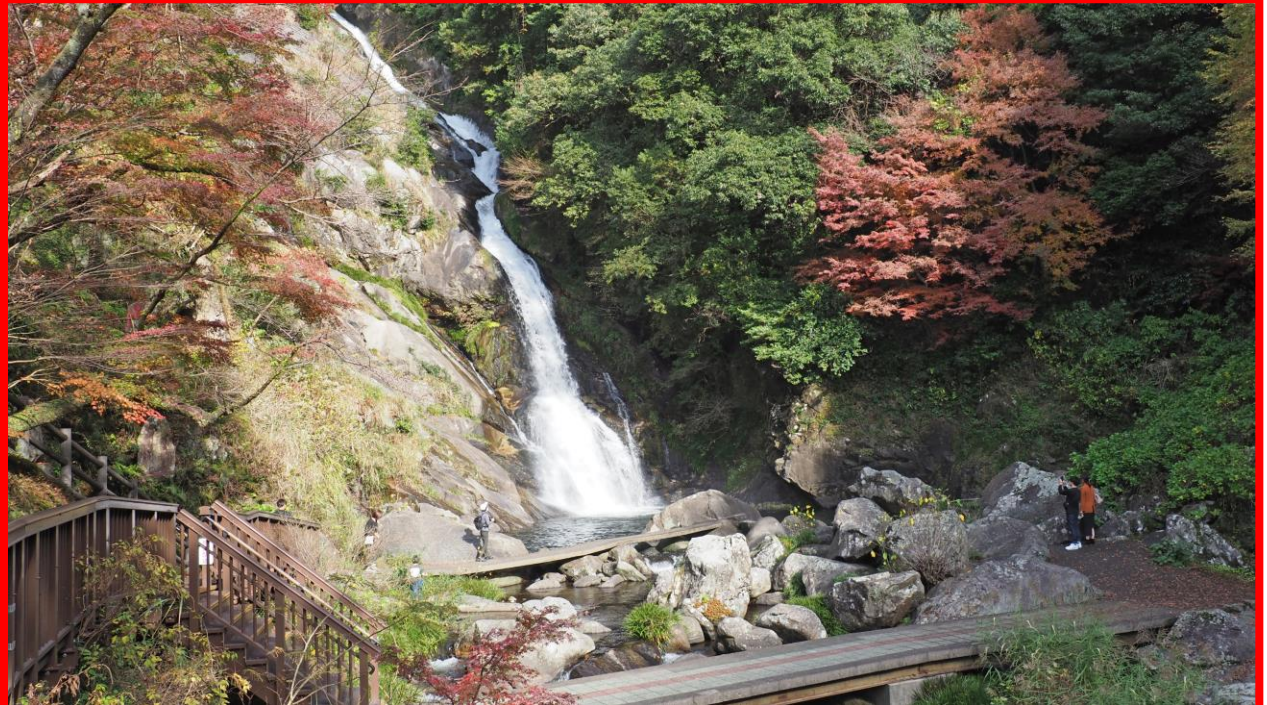
2022/11/27 12:42
観音の滝



2022/11/27
14:26
見帰りの滝



2022/11/27 12:12
観音の滝



浮嶽(うきだけ)805m

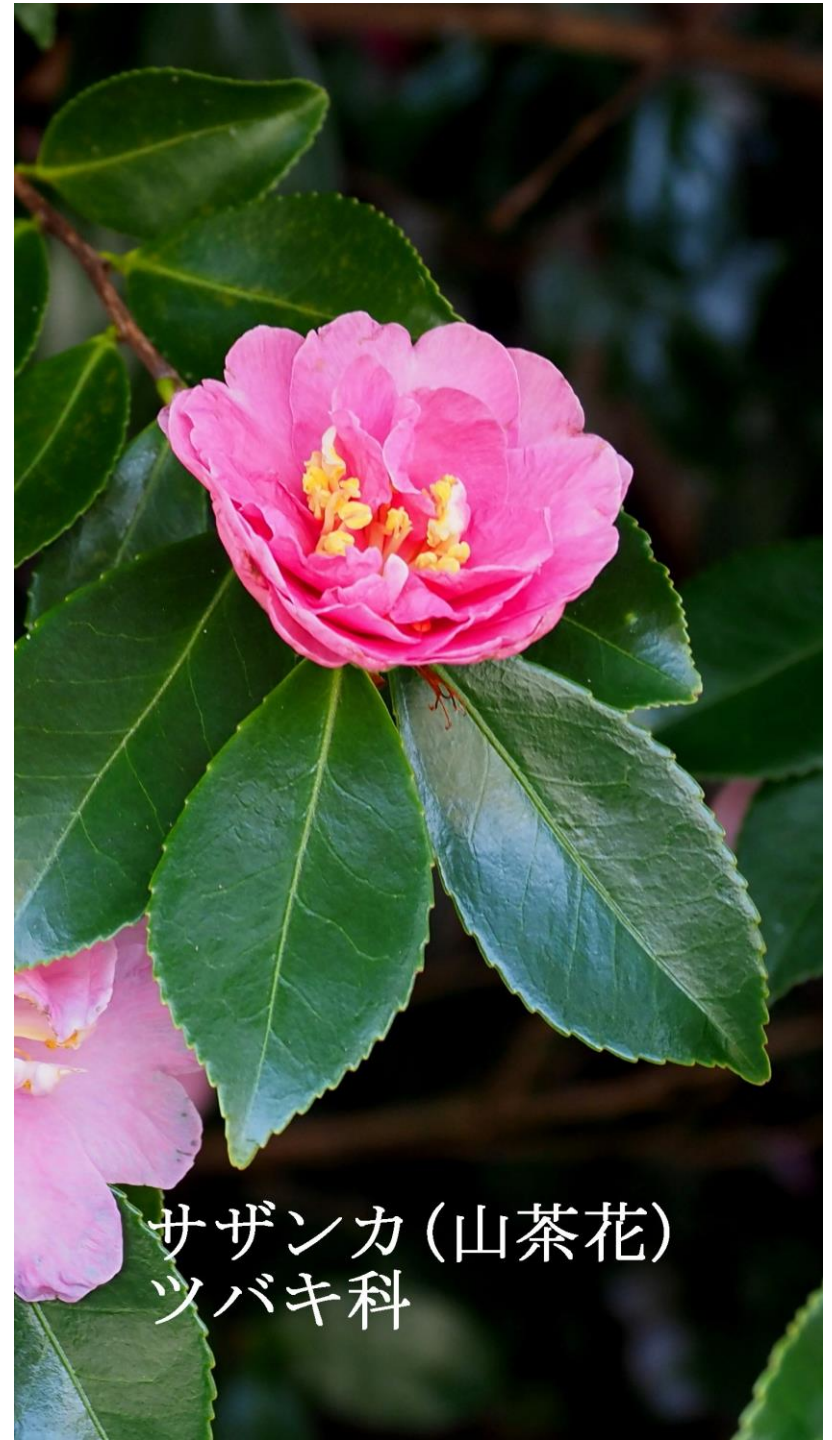
2022/11/27 11:52
観音の滝駐車場



2022/11/27
11:54



2022/11/27 12:02
(観音大橋から)



サザンカ (山茶花)
ツバキ科

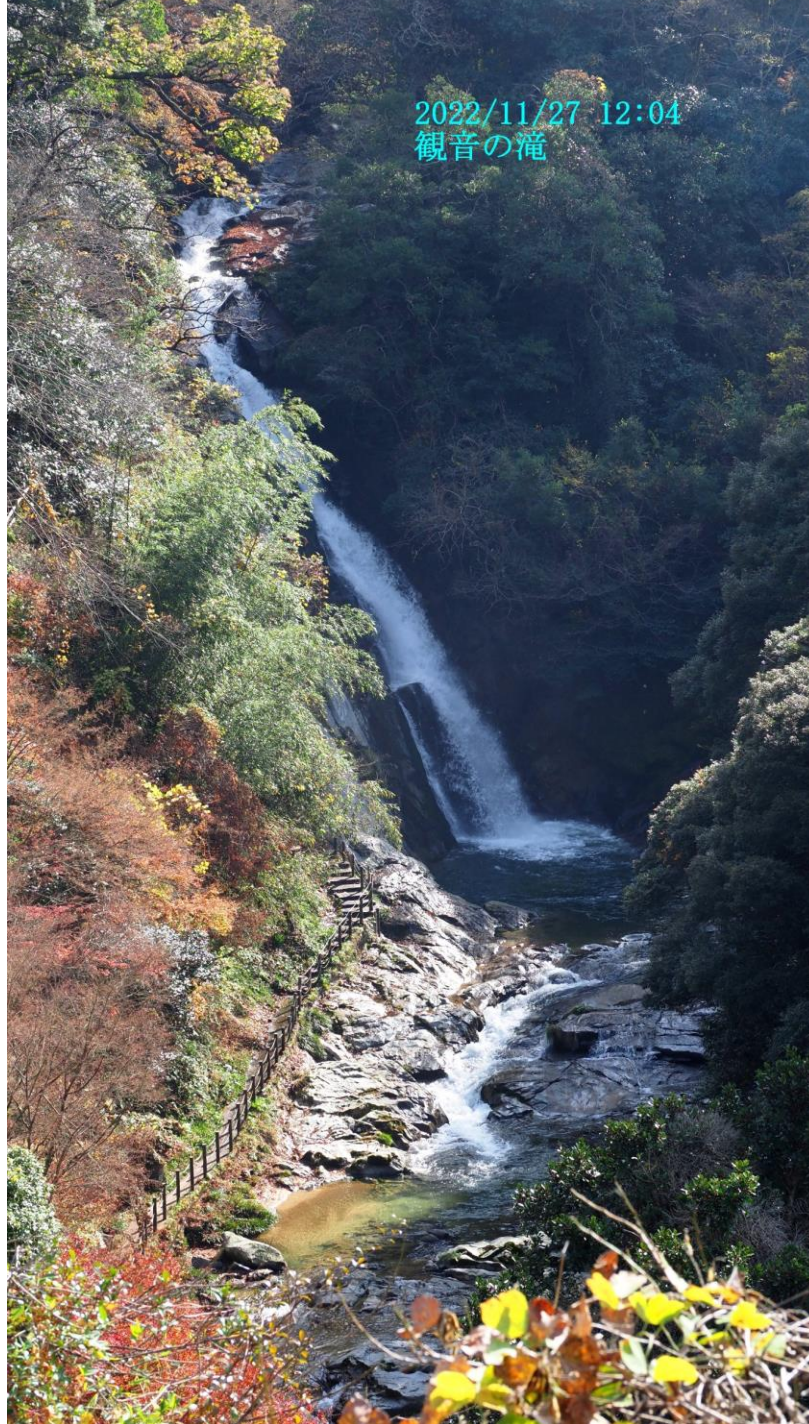


観音大橋からの展望

2022/11/27 12:00
観音の滝



ツクシアザミ (筑紫薊)
キク科



2022/11/27 12:04
観音の滝



ヤクシソウ (薬師草)
キク科





シロダモ(白だも)
クスノキ科 常緑高木



ニシキギ (錦木) ニシキギ科



2022/11/27
12:53



2022/11/27 12:54

滝の観音

文禄元年（一五九二年）に豊臣秀吉は肥前の名護屋城へ来て、自ら朝鮮へ向かう将士の指揮に当たったが、秀吉の名護屋陣中、身の回りの世話をしたのは、名護屋越前守経述の妹の「広」であった。

「広」は美人で気だてもやされかつたので、秀吉に可愛いがられ、「広沢局」と称された。

「広沢局」は、文禄三年（一五九四年）二月に眼病をわずらい、治らなかつたので、五月七山郷滝川を訪れて、福聚院の観音菩薩に二十一日間、眼病平癒の願をかけたところ快癒したと伝えられている。その観音様が「滝の観音」であつて、今もその御分霊が「広沢局」にゆかりのある名護屋城山里丸の「広沢寺」にまつられている。

滝壺の近くに人間の目のようなくぼみがあつて、そこに生目観音がまつつてあり、その水を汲んで供え、また、その水で眼を洗うと眼病がよくなると言われている。

七山村





2022/11/27 13:02:10



2022/11/27 13:02



2022/11/27 13:02



ソバ (蕎麦) タデ科



ソバ (蕎麦) タデ科



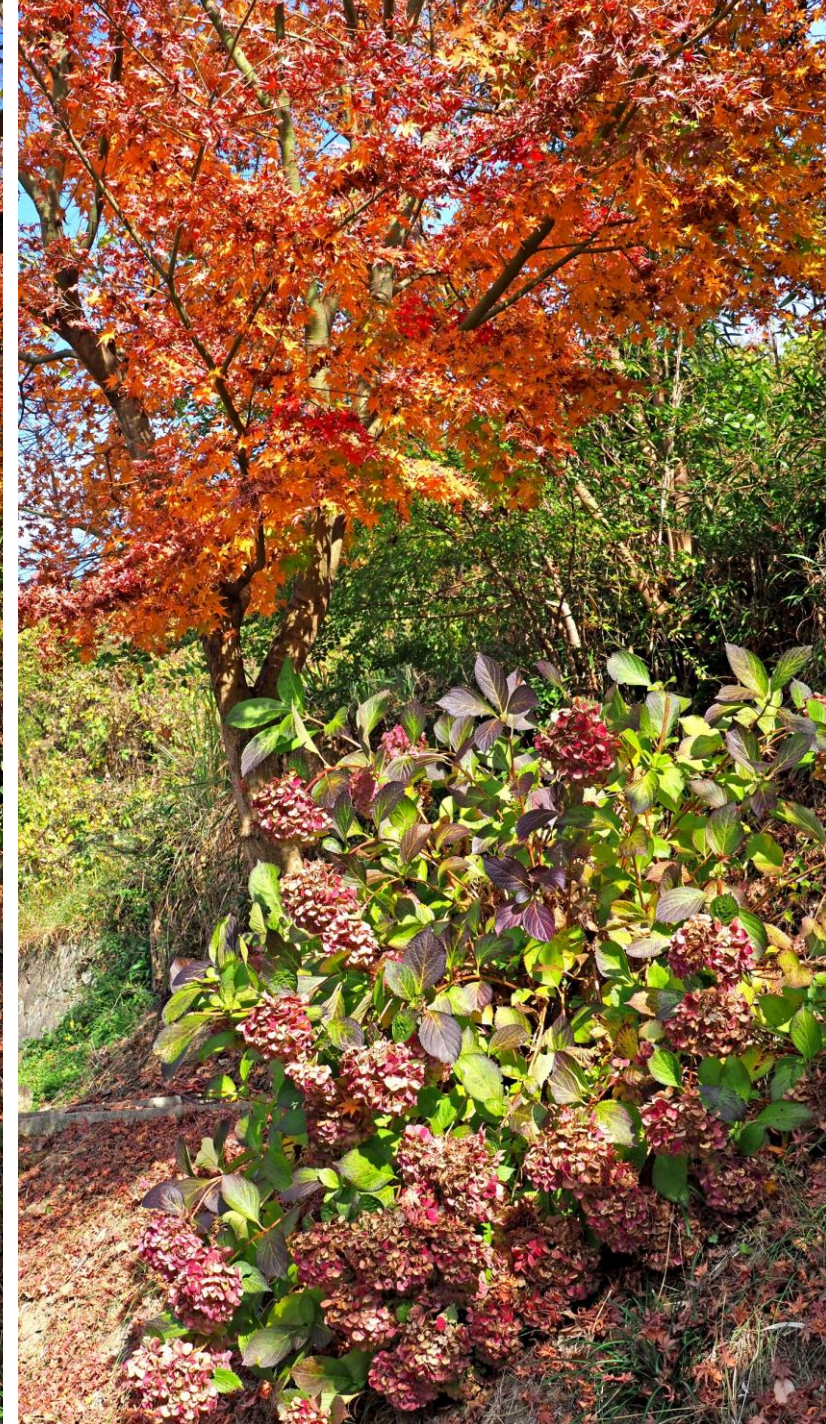
ソバ (蕎麦)
タデ科



ヤマハッカ (山薄荷)
シソ科



ベニバナボロギク
(紅花檻樓菊)キク科
アフリカ原産の帰化植物




観音の滝遊歩道

入口

- 清めの淵
- 生目観音方面
- 木がくれの淵

2022/11/27 13:08



2022/11/27 13:10
観音の滝駐車場に戻る
1時間20分の行動時間

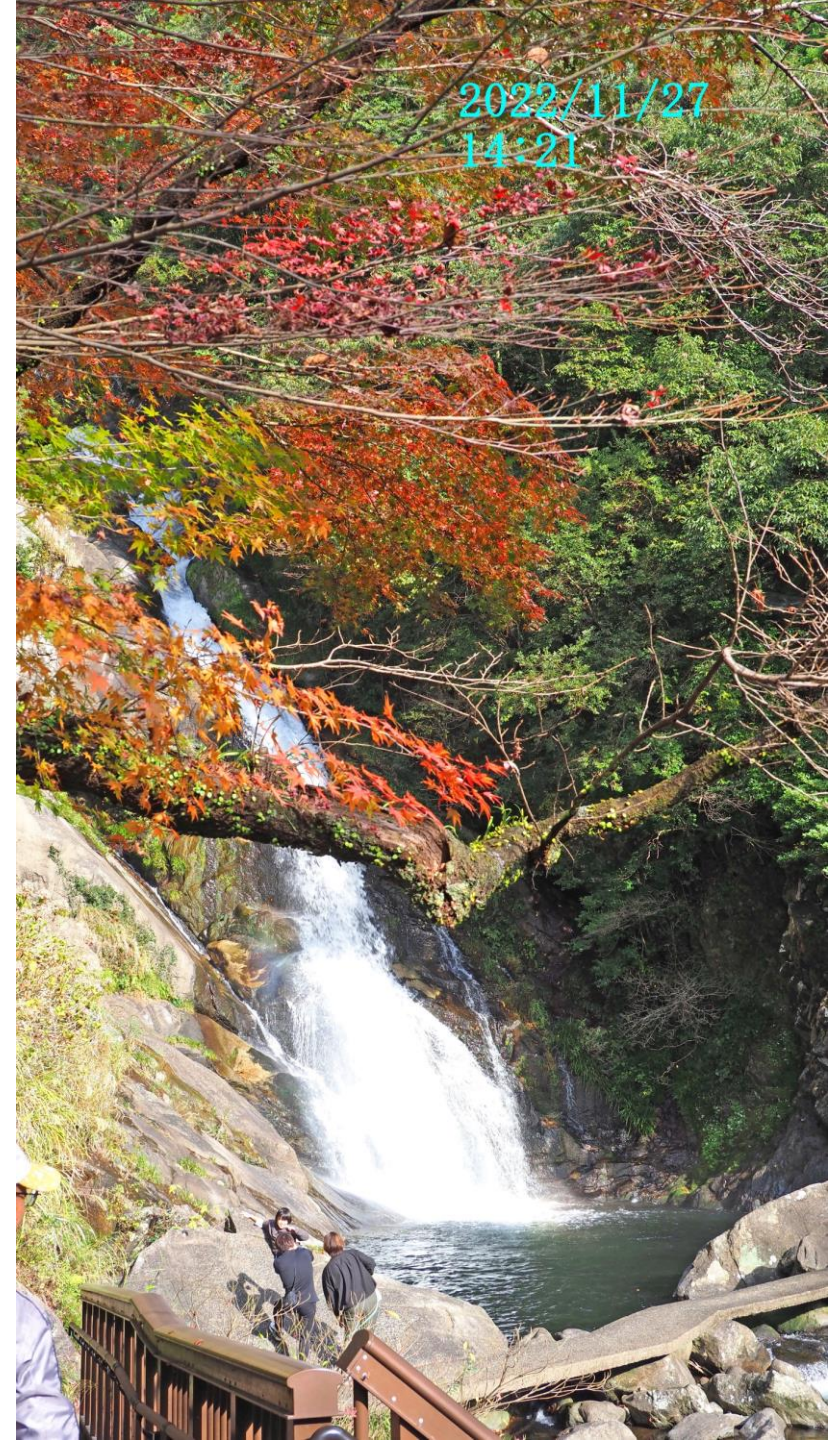
ここから見帰りの滝



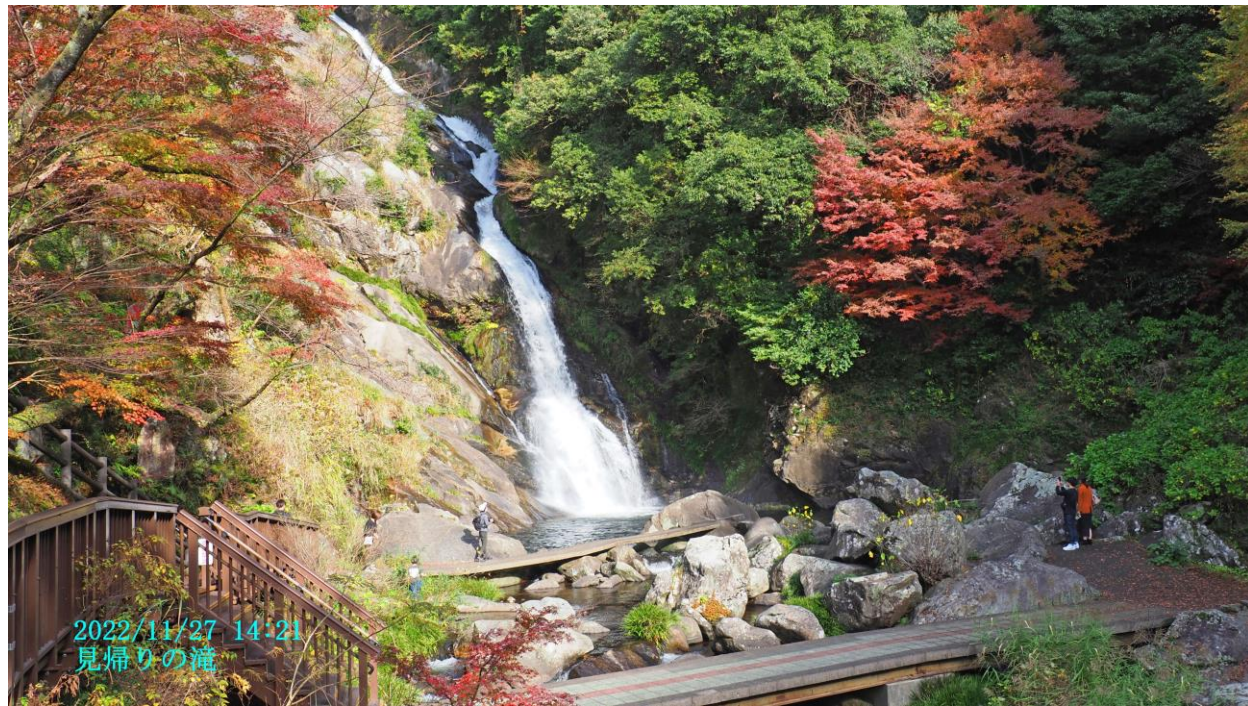
2022/11/27 14:19
見帰りの滝駐車場



マンリョウ(万両)
ヤブコウジ科 常緑小低木
別名: ヤブタチバナ



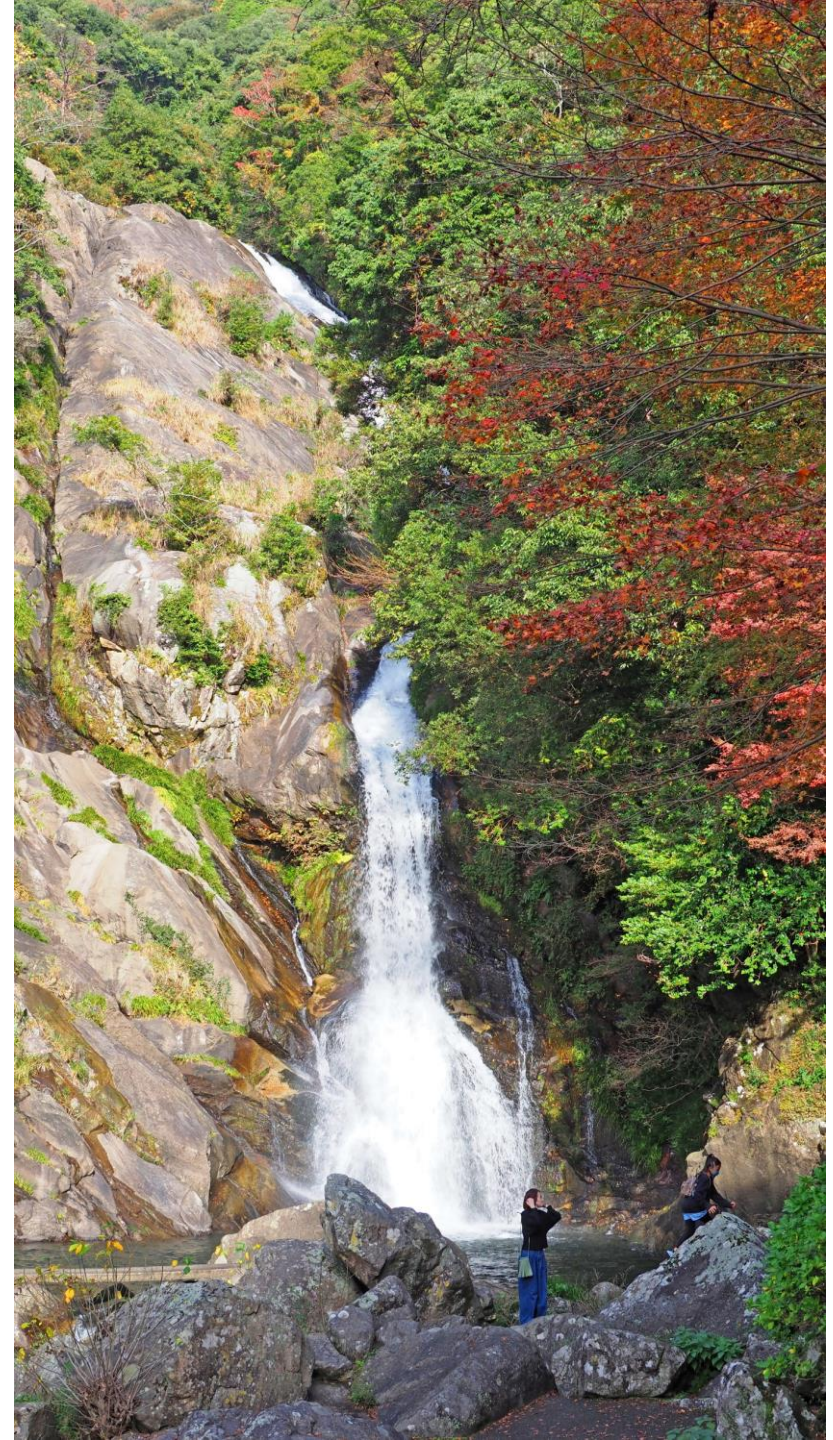
2022/11/27
14:21



2022/11/27 14:21
見帰りの滝



2022/11/27
14:22



2022/11/27
14:32
見帰りの滝



END